

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載  
 【部門区分】第 3 部門第 5 区分  
 【発行日】平成 18 年 6 月 29 日 (2006.6.29)

【公表番号】特表 2005-534817 (P2005-534817A)  
 【公表日】平成 17 年 11 月 17 日 (2005.11.17)  
 【年通号数】公開・登録公報 2005-045  
 【出願番号】特願 2004-515695 (P2004-515695)  
 【国際特許分類】

**D 0 4 H      3/16      (2006.01)**

【F I】

D 0 4 H      3/16

【手続補正書】

【提出日】平成 18 年 5 月 10 日 (2006.5.10)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

ダイキャピティを通して流動する繊維形成材料に対して実質的に均一な滞留時間を有するダイキャピティと、前記ダイキャピティからの出口における複数のフィラメント形成オリフィスと、前記フィラメントを繊維へと細くするための空気または他の流体の流れを供給することが可能な導管と、前記細くされた繊維の層を不織ウェブへと形成可能な捕集装置および任意のカレンダー加工装置と、を具備する、不織ウェブ形成装置。

【請求項 2】

1 メートル以上の幅を有する均一または実質的に均一な不織ウェブを形成可能である並行配列で複数の前記ダイキャピティが配列される、請求項 1 記載の装置。

【請求項 3】

前記ダイキャピティが、壁を有するマニホールドと、壁を有するダイスロットと、を有し、かつ前記スロット壁における剪断速度がマニホールド壁における剪断速度と実質的に同一である、請求項 1 記載の装置。

【請求項 4】

前記ダイキャピティが、アウトレット端部と中心線とを有し、かつ次の等式：

【数 1】

$$y(x) = (1 \pm 0.5) 2W \left( \frac{b-x}{W} - 1 \right)^{1/2}$$

(式中、 $x$  および  $y$  は、 $x$  軸が前記アウトレット端部に相当し、かつ  $y$  軸が前記中心線に相当する  $x - y$  座標空間における座標であり、 $b$  は前記ダイキャピティ半値幅であり、かつ  $W$  は前記マニホールドアーム幅である) によって定義される曲線内で接触するマニホールドアームとダイスロットとをさらに有する、請求項 1 記載の装置。

【請求項 5】

実質的に均一な滞留時間を有するダイキャピティを通して繊維形成材料を流動させた後にフィラメントを形成するべく複数のオリフィスを通して繊維形成材料を流動させる工程と、

空気又は他の流体を使用して前記フィラメントを細くして繊維にする工程と、

前記細くされた繊維を不織ウェブとして捕集する工程と、を含む、繊維状ウェブの形成

方法。